

## 図書館のRFID導入について

女子栄養大学図書館の場合

女子栄養大学図書館  
小川 禮子

### 概要:

- ・図書館界はハード面、ソフト面ともに変革の時期
- ・冊子体中心の紙情報から電子化によりデータベースはテキスト・PDF・HTML等、日進月歩の変化
- ・利用者側の情報収集の環境変化により、貸出・返却、リファレンス等人的に煩雑
- ・システム・リニューアルを機に、問題点や課題を分析、サービス面・省力面の機能アップにRFID導入決定
- ・2004年10月導入の事例報告

- ・RFID電波等の詳細について(解説)  
㈱チェックポイントシステム・ ジャパン

- ・ はじめに
- ・ 導入の経緯
- ・ RFIDシステムの選択
- ・ システムの概要
- ・ 稼働までの準備
- ・ おわりに



駒込キャンパス正門前

### 学校法人香川栄養学園の構成

東京都豊島区駒込

「短期大学部」、社会人対象の「栄養学部二部」、調理師養成施設の「香川栄養専門学校」を設置

- ・「出版部」、「生涯学習センター」、「プランタン」(製菓・販売)等の事業部門を併設。

・本学発祥の地

埼玉県坂戸市

「大学・大学院」、「研究所」などの教育・研究機関



坂戸キャンパス

### 坂戸キャンパス

栄養学部・・・実践栄養学科、保健栄養学科、文化栄養学科の三学科を設置

- ・管理栄養士、栄養士、臨床検査技師、養護教諭、家庭科教諭等の資格取得可

### 駒込キャンパス

短期大学部・・・食物栄養学科の一学科を設置

- ・栄養士、家庭科教諭等資格取得可

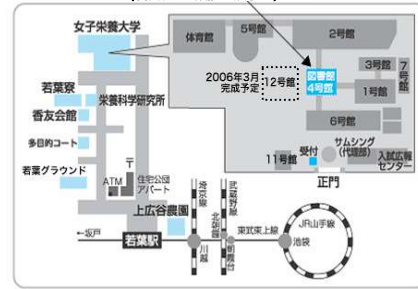
### 建学の精神

「正しい食生活によって人々の健康を守る」

### 女子栄養大学図書館

図書館棟4号館2階

(香川昇三・綾記念展示室)



### 各図書館

坂戸キャンパス・・・

「大学図書館」

駒込キャンパス・・・

「短期大学部図書館」

「専門学校図書室」

各図書館はデータを共有

各蔵書の特性

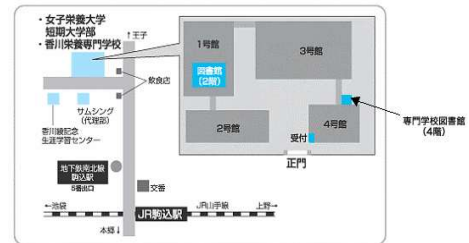


## 蔵書の構成

大学・・・

- ・栄養学の教育・研究を中心
- ・栄養学・医学・生理学等、  
周辺領域にある医療分野
- ・生活全般に係わる食文化

## 女子栄養大学短期大学部図書館 専門学校図書室



## 蔵書の構成

短期大学部・・・

- ・栄養学部二部、専門学校共有
- ・栄養、食品、衛生、調理分野、  
各国の食文化等



## 専門学校の蔵書

調理技術書、料理書の専門書、  
国内外の食文化関係

## はじめに

### 図書館管理… 新システム選択の条件

- ・キャンパス間のシステム一元化
- ・大学方針…2004年度リニューアル
- ・教育・研究へのサービス充実
- ・各館の業務連携、省力化…職員の兼務
- ・従来図書館管理システムからの脱却更新

## 導入の経緯

### 1. 導入の背景

- ・図書館の電子化、自動化の背景  
利用者の社会的環境変化
- ・情報技術の急速な発展  
PC、携帯端末、ネットワークの普及
- ・大量情報へのアクセス
- ・人、時間、場所を問わない情報取得
- ・サービス向上、業務省力化

以上、図書館管理システム改革への着手

### 2. 業務の簡素化

- ・従来使用の外ルテープ…1バイトの磁気  
貸出か否かの処理、一冊づつ処理
- ・蔵書点検…各冊バーコード処理、労力等  
簡素化
- ・磁気処理からラジオ電波RFに変更
- ・RFID電波の特質…柔軟な通信距離
- ・RFタグ(チップ)のメモリ…数100バイト  
日本語全角文字で50文字の書き込み可
- ・貸出・返却処理の効率化・自動化
- ・利用者のプライバシー保護
- ・蔵書点検の効率・省力化、誤配置の発見

### 3. 健康重視

- ・「ひとびとの健康」が最重要課題
- ・図書館システム構築の第一要因…  
健康を害する要因なし…
- ・電磁波による人体への影響問題…
- ・製造企業、電磁波研究専門員へ調査依頼  
貸出返却装置の測定量…
- ・調査結果…最大10,000ガウス出力
- ・医療機器、ペースメーカーの影響…
- ・十分な調査、厳格な条件の海外導入実績

## RFIDシステムの選択

1. 貸出・返却の簡素化…自動化  
RFIDによる複数図書同時処理  
利用者のプライバシー保護
2. 蔵書点検の軽減  
RFIDリーダーによる誤配置発見  
点検時間、作業の省力化…点検人数削減
3. RFIDゲートによる不正帯出管理  
書名・帯出時の同時記録  
書名(ID)情報により係員の信頼回復
4. 専門学校図書室の遠隔管理…無人化  
LANを介したCCTVカメラ設置  
貸出・返却処理一元化【短期大学部処理】

RFIDに関する各社システムを検討した結果、  
(株)チェックポイント・ジャパン  
『図書館管理システムIntelligent Library System  
(ILS)』を採択

### 導入機器一覧

機器	大学図書館	短期大学部図書館	専門学校図書室
1 ILSゲート	2本	2本	1本
2 自動貸出返却装置	1台	1台	1台
3 貸出・返却用リーダライト	1台	1台	-
4 蔵書点検リーダ	2台	2台	-
5 総合管理ラベル発行機	1台		
6 総合管理ラベル	60,000枚	380,000枚	2,000枚
7 CCTVカメラ	-	-	1式



ILSゲート



自動貸出返却装置



蔵書点検リーダ



蔵書点検



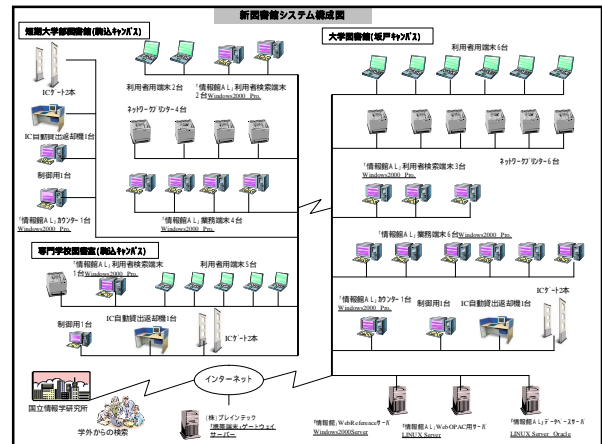
ラベル発行機



## システムの概要

図書館システムは各館処理レスポンスの高速化を図り、LinuxサーバーとWindows系クライアント間の分散システムを採択

- ・新図書館システム『情報館AL』
- ・管理ICは図書館システム側のソフト開発
- ・IC連携ソフト開発・・・(株)ブレインテック

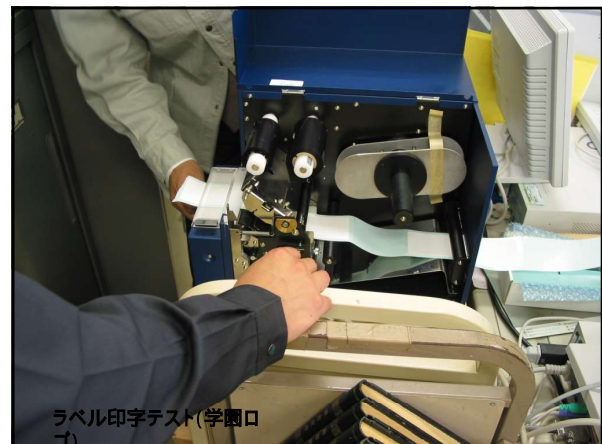
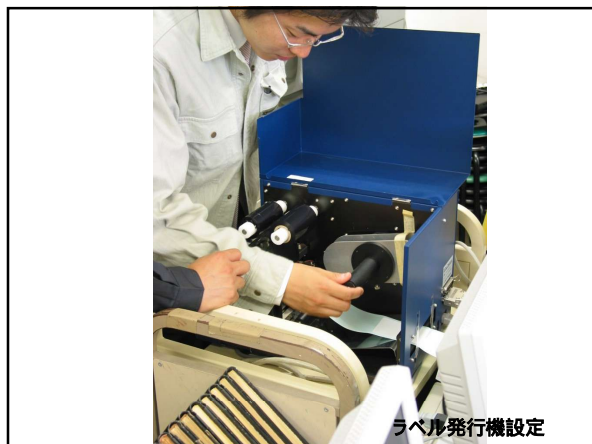


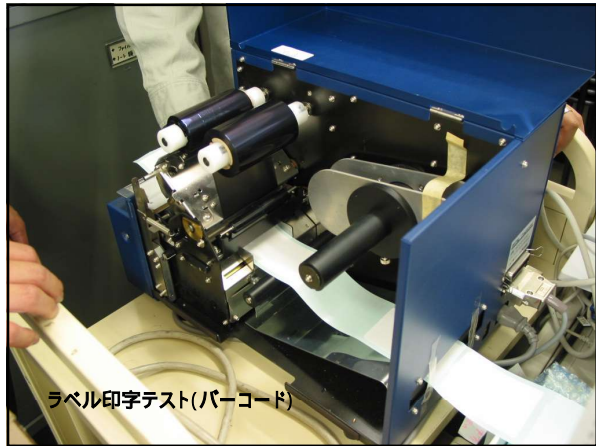
## 稼働までの準備

1. ICチップの単価(1ドル)・・・コスト削減化  
蔵書の見直し・・・【除籍2,535冊】  
対象:重複・科学系・保存向・利用頻度低下等の図書  
・自然科学系図書・・・保存書架移動(2000年以前の図書)  
・ICチップ貼付10万冊・・・当該年度予算減
2. 電波コイル貼付図書・・・  
RFIDとの緩衝から剥離(作業量:IC貼付時間の2倍)
3. 各業者ヒヤリング実施
4. ICチップ貼付場所・位置等申し合わせ【図書館】
5. ICチップ貼付作業の実施・・・7月下旬～8月下旬



バーコード設定











パソコン接続

## おわりに

新図書館ICシステムの導入によって大きく変わった点

1. 自動貸出・返却
  - ・利用者みずから貸出・返却手続を処理
  - ・IC連動によって瞬時に複数図書処理
  - ・手続した図書表示の画面確認、貸出シートの出力
  - ・学生の歓声・・・JRの“SUICAだ！”
  - ・昼休み等混雑の待ち時間解消。
2. 蔵書点検
  - ・簡素化・・・点検時間・在庫内容・資産照会・担当者減員
3. カウンターローテーション時間の延長・・・
  - ・従来(1時間弱) => 2~3時間(担当者減員)
  - ・リファレンス業務のゆとり
4. 図書館システム
  - ・OPAC検索スピードアップ

## 将来の課題

### RFID関連

- ・価格の低下・・・1ドル以下
- ・サイズの縮小・・・図書ラベルサイズ
- ・チップの互換性・・・各社仕様
- ・発行機の改良・・・簡便化

### 図書館関連

- ・リファレンサーの育成・・・業務省力化
- ・開館日・・・自動化による日曜開館
- ・学生カードIC化・・・多機能使用



RFIDラベル

ご清聴ありがとうございました

